

京都大学の演出家と学校薬剤師がコラボで考えた 薬物乱用防止教室

＜寸劇＞～薬物を勧められた時の上手い断り方～



株式会社ファミリー厚川
代表取締役兼管理薬剤師
常勤薬剤師
京都大学経営管理大学院

厚川薬局
厚川俊明
川端なつみ
特任准教授
蓮行

龍谷大学 社会科学研究所 客員研究員
大山溪花

背景・目的

2021年、我が国の薬物事犯の検挙者数は過去最多となる5783人に達した。2022年も5546人という高水準を維持している。

特に注目すべきは、検挙された者の約69%が30歳未満であることから、若年層における薬物事犯が高い割合を占めているという事実である。

このような状況を受け、将来的に薬物使用を勧められる可能性がある場面に遭遇した際に、思い出してもらえそうな薬物乱用防止教室にしたいと考えた。

そこで厚川薬局と京都大学の教育プログラムを実施し、受講者からのアンケート調査を実施したので結果を報告する。

方法

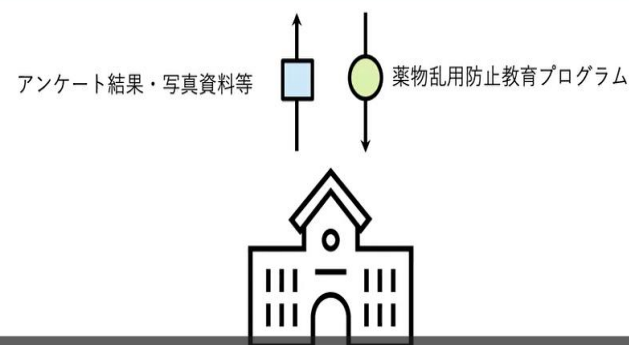
対象者は、学校薬剤師をしている川口市の中学校の1年生から3年生の401名で、薬物乱用防止教室後にエクセルファイルにてアンケート調査を行った。

アンケートは、学習の理解度や薬物を勧められたときにうまく断れるか等を調査した。

前半は薬剤師による講義、後半は京都大学の教育プログラムによる脚本にて児童生徒と教員による寸劇の上演を中心に行った。



実施体制に関するご説明



薬物乱用防止教室

～薬物を勧められた時の上手い断り方～

〇〇中学校
2023年12月14日

学校薬剤師
厚川 俊明



結果

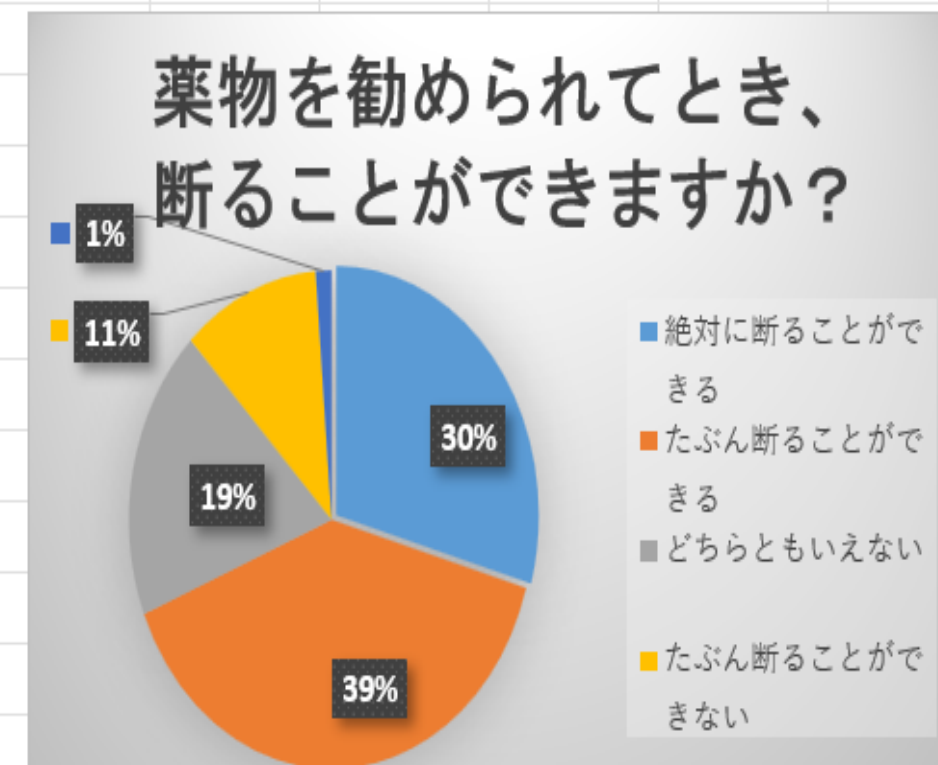
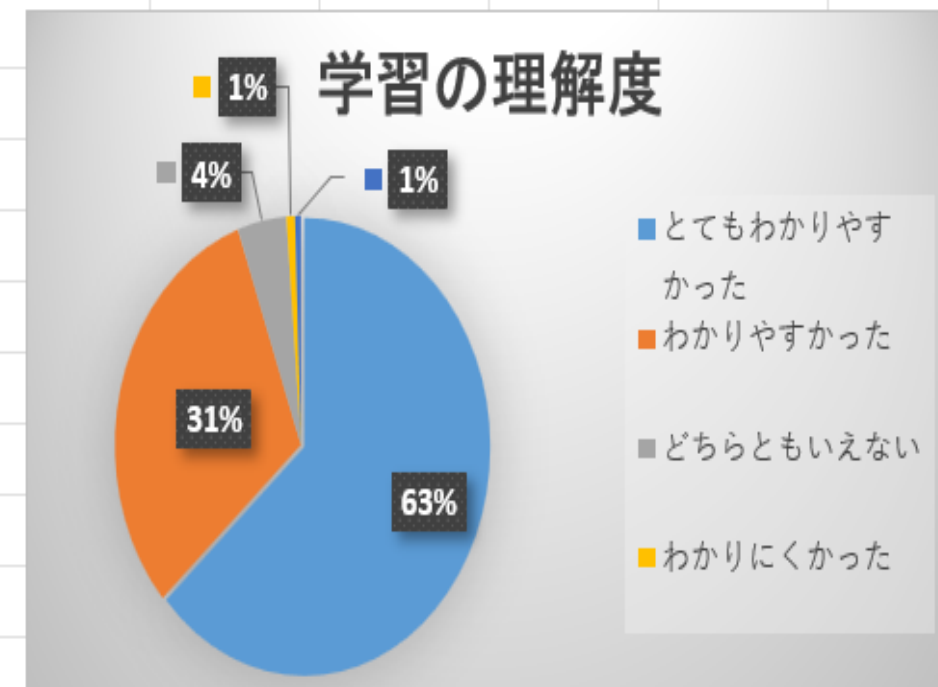
薬物乱用教室後、アンケート調査をデータにまとめた

(回収率 100%)

〇〇中学校 薬物乱用防止教室のアンケート集計 (2023.12.14)

3.今日の学習の理解度		
とてもわかりやすかった	254	63%
わかりやすかった	125	31%
どちらともいえない	17	4%
わかりにくかった	3	1%
とてもわかりにくかった	2	0%
	401	100%

5.今回の劇のように、先輩に薬物を勧められたとき、断ることができると思いますか？		
絶対に断ることができる	118	29%
たぶん断ることができる	158	39%
どちらともいえない	76	19%
たぶん断ることができない	44	11%
絶対に断ることができない	5	1%
	401	100%



1. 生徒の主な感想（理解度）

- 劇によって面白おかしくやってくれたので**興味をずっと持ったまま臨めた**
- 毎年行っている薬物乱用防止教室だが今回は**劇という新しい伝え方**だったので**新鮮で記憶に残り**やすかった
- もスライドもわかりやすく、劇で実際に現場を想定してやってくれて、今までの薬物乱用防止教室よりも深く考えることができた。
- もしそのようなときに出会ったらどうするのかを理解しやすくするための劇があったから
- 劇のやつがすげーわかりやすかった

2, 今回の劇のように、先輩に薬物を勧められたとき、断ることができると思いますか？

「断ることができる」

「たぶん断ることができる」と回答した理由

- ・今まで、きっぱりと断ると教えてもらいましたが、その断り方があまりわかりませんでした。しかし、**詳しい断り方を知れた**ので、うまいこと断れる気がします。

- ・薬物と分かっていたら、その場から逃げたりごまかしたりすることは出来ると思うが今日のようにサプリやスポーツドリンクと言われてしまったり確実に怪しいと思えなかったら、断れないと思う。

「絶対断ることができない」
「たぶん断ることができない」
「どちらともいえない」と回答した理由

- ・ 劇を見て断らなくれはいけないとわかっていても、実際に断ることは難しいと思ったから。
- ・ 今回のように〇〇先生のような先輩にいわれてら、こわいし薬物を使わないことより命のほうが大事だと判断するから
- ・ 自分は他人の頼みは断れないので強い態度で来られたり頼み込まれたら受け取ってしまう

ま と め

実施後のエクセルファイルにてのアンケート調査では、1年生から3年生の401名（1年生が123名、2年生が129名、3年生が149名）が回答した。

(回収率100%)

学習の理解度として とても分かりやすかった254名（63%） わかりやすかった125名（31%） どちらともいえない17名（4%） わかりにくかった3名（1%） とてもわかりにくかった2名（0%）

今回のように先輩に薬物を勧められたとき、断ることができると思いますか？という問いに対して 絶対に断ることができる118名（29%） たぶん断ることができる158名（39%） どちらともいえない76名（19%） たぶん断ることができない44名（11%） 絶対に断ることができない5名（1%）であった。

考 察

実施後のアンケート調査では、わかりやすい、断ることができるの意見が大半であったが、地域の薬局が、学校薬剤師として学校に関わり、今回のように京都大学が作った教育プログラムを広げることによって、若年層の薬物事犯が減少することが、社会全体の健全な発展に寄与すると考えている。

今回の寸劇を取り入れた薬物乱用教室を受けることにより、10年後、20年後に薬物を使用する生徒が減るかどうかを見ていく必要がある。

第11回コミュニティファーマシーフォーラム

利益相反の開示

演者名： 厚川俊明

私は今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反はありません。